

アピカホールから あなたに

ポナンタゴン

Vol.86

2017.10月-12月

10/15 (日)

ソプラノ
足立さつきさん

ピアノ
岡中 明子さん

みんなの知らない音楽の世界

「みんなの知らない音楽の世界」
コンサート編

「みんなの知らない音楽の世界」
コンサート編

「みんなの知らない音楽の世界」
コンサート編

十月十五開催

■寄稿 足立さつき

蓄音器で味わう
名曲シリーズ

「懐かしの昭和歌謡の世界」

「歌は世つれ世は歌にづれ」

十月二十二日開催

■寄稿 廣田有司

うかわ先生の
おんがく談義

音楽の話・輪・和・Wa
アピカホールと我が家の子どもたち

西脇市立音楽ホール

Apika
アピカホール

10月15日(日) 14時開演(13時30分開場)

こころトキメク交流企画

みんなの知らない音楽の世界

足立 さつき (ソプラノ)

初めてアピカホールで演奏した時の感動を今も覚えています。180席の贅沢な空間で、お客様との一体感を感じ、歌とピアノから奏でるハーモニーが響き渡る音を、心地よく味わいながら演奏することができました。

“声”は、身体を駆使して“歌声”となります。そして“歌声”となるもう一つの大切な要素が“空間”つまり“ホールの響き”です。それは、音(声)は波動であり、音源である声帯から出す音を、身体の内側や外側にある空気を震わせて、聴いている人の鼓膜や身体を震わせるというしくみがあるからなのです。

ですから、いくら身体を使って良い声を出しても、全く響きのない空間(例えば極端ですが、絨毯に囲まれた部屋とか)では、音(声)を振動(共鳴)させることが難しくなります。

逆に、アピカのようなコンサートホールの持つ豊かな響きを、さも自分が持っている楽器のように感じながら歌うことができれば、余計な力を使わずに、本来自分が持つ声を響かせることができるのです。

さて、いくらホールの響きが良くても、音源である声帯と身体が、自分でコントロールできなければ、きれいな声にはなりません。声帯やその回りの筋肉の動き、息の吐き方吸い方、呼吸のコントロール、横隔膜やお腹の表面の筋肉の使い方、口の中、舌の使い方、顔の筋肉(表情筋)、、、あらゆることをうまくバランスを取りながら駆使して初めて、美しく響く歌声となるのです。

では、具体的にどのようにすれば、美しく響く声になるのか、、。私は、今年(2017)オペラデビュー30周年を迎えさせていただきました。高校1年生の秋から声楽を始めましたので、かれこれ40年以上、“声”に関して、「ああでもない、こうでもない、」を繰り返してきたこととなります。美しく響く本来の自分の声を探す終わりのない道ですが、自分の身体と向き合いながら探求し続けることで、常に発見と喜びがそこに現れます。

これまで私が体験してきた声に関する色々な

事、皆さまがあまりお知りにならなかった世界を、今回始まる「みんなの知らない音楽の世界」を通して、具体的にお伝えできる時間となればたいへん嬉しく思います。

今回のレクチャーでは、声のつくり方、身体の使い方など、ストレッチや発声練習を行い、さらに曲を使って響きあうハーモニーを創ってまいります。また、コンサートでも、レクチャーにご参加の方も、コンサートのみご来場の方も、声の練習をして一緒に舞台上で歌っていただく時間を持つことにしています。

コンサートでの私の演奏は、日本の歌を中心にオペラ・オペレッタのアリアを、曲や作曲家の解説など行いながらお聴きいただく予定です。

皆さまの財産である“響きの良いアピカホール”で、一人一人が持っている大きな宝物である“声”を使って歌い、親しい仲間と、あるいは初対面の人たちと、声を合わせる喜び、ハーモニーで響きあう喜びを感じましょう!!

ぜひぜひ皆さま、ご参加、ご来場くださいませ。



ソプラノ
足立 さつき



ピアノ
田中 明子

10月3日(火) 19時開演(18時30分開場)

こころトキメク交流企画

みんなの知らない音楽の世界～レクチャー編～

レクチャー

10月3日(火)
19時開演(18時30分開場)

一般 1,000円
高校生以下 500円

コンサート

10月15日(日)
14時開演(13時30分開場)

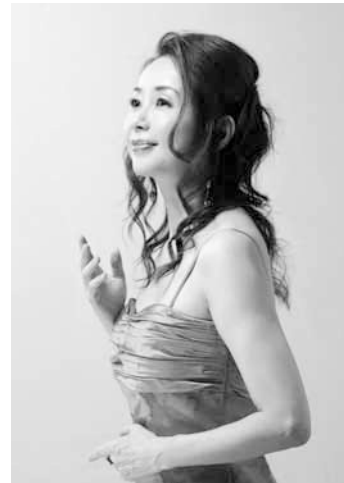
一般 2,000円
高校生以下 500円

セット券

レクチャー & コンサート

一般 2,500円
高校生以下 500円

プロフィール



足立さつき (ソプラノ)

武蔵野音楽大学卒業、同大学院修了。1986年第3回ニッカ椿姫新人賞第1位を受賞。

1987年「椿姫」のヴィオレッタ役でオペラ・デビュー。以後、「こうもり」のアデーレ、「フィガロの結婚」のスザンナ、「リゴレット」のジルダなど様々なオペラに出演。

1991年よりミラノへ2年間留学。1994年と2004年にはウィーン・シュトラウス・フェスティバル・オーケストラとの全国公演にソリストとして参加し、絶賛を浴びる。

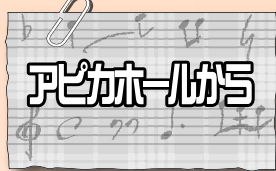
1996年12月31日～翌1997年1月1日の両日、ザルツブルグ・モーツァルテウム大ホールにて行われた、ウィーン・オペレッタ・オーケストラのジルベスター及びニュー・イヤークンサートに出演する。

1998年9月「夕鶴」モスクワ公演で、“つう”役に抜擢され、故・團伊玖磨氏から大絶賛された。

2012年、デビュー25周年リサイタルを東京、京都、兵庫で開催。近年、後進の指導とともに合唱指導も始め、2013年1月には、東京交響楽団付属、東響コーラス25周年記念「万葉集」後援で、合唱指揮者デビュー。東京・渋谷と地元丹波市で女声合唱団を主宰。また、神奈川、新潟など、各市にて合唱指導、ヴォイストレーニングを行っている。

2017年8月と9月には、デビュー30周年リサイタルを丹波市、東京渋谷区・白寿ホールにて行う。

1992年村松賞受賞。平成16年度兵庫県芸術奨励賞受賞。



蓄音器で味わう名曲シリーズ

廣田 有司 (SPレコード蒐集家)

アナログの時代からデジタルの時代への技術革新の歴史には、まさに目を見張るものがあります。今日では蓄音器の実物を見た事がないという方も多いのではないのでしょうか。

しかし、蓄音器を通して聴く古風なアナログのSPレコードの音色には人間の五感に訴える安らぎの効果があるという事も言われており、脳や心に与える影響が再確認され始めています。その上、懐かしい昭和歌謡をSPレコードを通して聴くという「回想法」も高齢化が進んでいる現状において注目され始めております。

この様な状況の中、最近アナログレコードが見直されてきており、家電メーカーの中でも一般的なレコードプレーヤーを再び生産し始めている所も出てきております。

私は、40歳頃からアナログレコードを本格的に聴くようになり、オーディオ機器も次々と買い求めて現在に至っております。

実は、5年前に初めて蓄音器に出会い、約100年前に製造された骨董品が奏でる「生々しい響き」に圧倒、感動させられ、蓄音器やSPレコードの蒐集(しゅうしゅう)にのめり込んでしまいました。

蓄音器の音色は、一般のオーディオ商品と比較すると、より暖かで柔らかで深みのある響きであると思います。特に歌唱だと自分の目の前で、実際に歌手がマイクを前にして、立って歌っている感覚が伝わってきて、まさに生々しい音色です。

市民の皆様方に、この素晴らしいアピカホールの響きの中で、約100年前の蓄音器の奏でる生き生きとした音色を堪能して頂きたいと思っております。是非多数の方のご来場をお待ちしております。

今後もアピカホールの自主企画の一環として年に数回ペースにて、ジャンル毎に企画させて頂く予定でございます。リクエストも受け付けさせていただきますので、宜しくお願いいたします。

蓄音器で味わう名曲シリーズ

～懐かしの昭和歌謡の世界～
「歌は世につれ、世は歌につれ」

1回目 10月22日(日)
2回目 12月 1日(金)

～クラシックの名曲の世界～

3回目 2月 4日(日)

全回 14時開演
(13時30分開場)
入場料 500円(当日精算)

プログラム一例

- | | |
|-------------|-------------|
| 東京行進曲 | 佐藤千夜子 |
| 東京ラブソフィー | 藤山一郎 |
| 麦と兵隊 | 東海林太郎 |
| 目ん無い千鳥 | ミスコロムビア/霧島昇 |
| リンゴの唄 | 霧島昇/並木路子 |
| 青い山脈 | 藤山一郎/奈良光枝 |
| ゲイシャ・ワルツ | 神楽坂はん子 |
| 別れの一本杉 | 春日八郎 |
| 月がとつても青いから | 菅原都々子 |
| 若いお巡りさん | 曽根史郎 |
| 星は何んでも知っている | 平尾昌章 |
| 夜露の第2国道 | フランク永井 |

“蓄音器は楽器の一つである。音楽を奏でてくれるから”
私もその通りだと思っています。このコンサートにおきましては、蓄音機ではなく「蓄音器」と表示させていただきます。
又、「蓄音器」の音を「手打ちそばの味」に例えればCDの音は、「インスタントラーメンの味」という人もおられます。

昭和5年の物価(1円=100銭)

- コーヒー(1杯) 10 銭
- 真空管ラジオ 65 円
- SPレコード(1枚) 1 円30 銭
- 卓上型蓄音器 85 円
- 大卒初任給 73 円



ニッポノホン 35号 1910年



ニッポノホン ユーホン 1911年頃

西 暦	年 号	項 目
1877年	明治10年	◆シャルル・クロ(仏)が音の記録と再生の方法を提案する ◆トーマス・エジソン(米)がフォノグラフ(錫箔式蓄音器)を発明する
1887年	明治20年	◆エジソンがフォノグラフ改良、蝸だけの蝸管を開発 ◆エミール・ベルリナー(米)がグラモフォン(平円盤式蓄音器)を発明する
1889年	明治22年	◆鹿鳴館でグラモフォンの視聴会が開かれる 日本での蓄音器初公開
1894年	明治27年	◆ベルリナーが平円盤式レコード(材料はエポナイト)のプレス作業に成功する
1899年	明治32年	◆日本最初の蝸管式蓄音器専門店・三光堂(松本武一郎、片山潜等共同経営)が東京・浅草で開業する。 ◆バラウドがテリア犬と蓄音器を描き、英グラモフォンがこれを買収する(HMVとビクターの犬マークのモデル)
1903年	明治36年	◆デニソン(米)がトーンアームを発明蓄音器の形態と音質が大きく変化
1909年	明治42年	◆日米蓄音機製造(株)、日本で最初の平円盤式(10インチ片面盤)レコードと蓄音器の製造を開始
1920年	大正 9年	◆ラジオ・ブームが起こり、蓄音器景気は一時下降する
1927年	昭和 2年	◆日蓄に英・米コロムビアの資本が入り、日本コロムビアが創立される。
1930年	昭和 5年	◆ジューク・ボックスが流行する ジャズ、ダンス曲が良く売れた
1948年	昭和23年	◆米コロムビア、片面23分間の33 1/3回転のLPレコード(材質はビニール)を発表
1949年	昭和24年	◆米RCAビクターがLPに対抗して、7インチ45回転のEPレコード(ドーナツ盤)を発表
1950年	昭和25年	◆RCAビクターがLPを、米コロムビアがEPをプレスし始め、SPの売り上げ下落 ◆東京通信工業(ソニー)が国内初のテープレコーダーと磁気テープを発売する
1951年	昭和26年	◆日本コロムビアが我が国初の国産LPを製造・発売する
1953年	昭和28年	◆日本ビクター、初めてLPを発売
1954年	昭和29年	◆日本ポリドール、11月からLPを発売開始
1955年	昭和30年	◆ソニーがステレオ・テープ・レコーダーとトランジスタ・ラジオを発売する
1960年	昭和35年	◆日本コロムビア、SP盤の製作を中止する



ユダヤ人の大作曲家たち(第1回)

前回まで3回にわたり、ユダヤ人の演奏の巨匠たちをご紹介してきました。

ついでといっはなんですが、この際、作曲家にも触れておこうと思立ちまして、いわば番外編としてユダヤ人の大作曲家たちを取り上げることにしました。

まずは、ユダヤ人の有名な作曲家たちを一覧表にして掲げてみましょう。

- ジャコモ・マイアベーア (1791~1864)
- フェリックス・メンデルスゾーン (1809~1847)
- グスタフ・マーラー (1860~1911)
- ポール・デュカス (1865~1935)
- アーノルト・シェーンベルク (1874~1951)
- ダリウス・ミヨー (1892~1974)
- ジョージ・ガーシュイン (1898~1937)
- アロン・コープランド (1900~1990)
- レナード・バーンスタイン (1918~1990)

なお、ユダヤ人は、オペレッタやミュージカルといった大衆音楽の作曲家も多数輩出していますので、それらの人たちも付け加えておきましょう。

- ジャック・オッフエンバック (1819~1880)
オペレッタ『天国と地獄』
- エミール・ワルトトイフェル (1837~1915)
ワルツ『スケートをする人々』
- オスカー・シュトラウス (1870~1954)
オペレッタ『ワルツの夢』

- レオ・ファル (1873~1925)
オペレッタ『ボンパデュール夫人』
- ジグムント・ロンバーク (1887~1951)
オペレッタ『学生王子』
- アーヴィング・バーリン (1888~1989)
ミュージカル『アニーよ銃をとれ』
- リチャード・ロジャース (1902~1979)
ミュージカル
『サウンド・オブ・ミュージック』

この表を見ていると、一つ疑問が生じてきます。

一番古い世代に、有名なメンデルスゾーンがいますが、それでは、メンデルスゾーン以前にはユダヤ人の作曲家はいなかったのかという疑問です。例えば、バッハの時代にはユダヤ人の作曲家はいなかったのでしょうか。

これは、ユダヤ人がヨーロッパで受けてきたひどい迫害の歴史と関係があります。ユダヤ人に対する迫害というと、ヒトラーによる大量虐殺が思い浮かびますが、実は、それ以前、中世の時代からユダヤ人はずっと迫害され続けてきたのです。

15世紀から16世紀にかけてフランス、スペイン、ポルトガル等では、次々とユダヤ人が国外に追放されました。イタリア、ドイツおよび中央ヨーロッパでは、住むことは許されたのですが、ゲットー(ヨーロッパでユダヤ人を強制的に隔離し、居住させた区域)で暮

らさなければなりませんでした。

メンデルスゾーンの祖父であるモーゼス・メンデルスゾーン(1729~1786)もベルリンの近くのデッサウにあったゲットーに生まれました。本来ならば貧しい行商人になるところだったのですが、とても幸いなことに学問の道に進むことができたのです。彼はそのうち、18世紀のドイツを代表する大哲学者となり、同時代のシラーやゲーテやカントに大きな影響を与えました。同い年のレッシングは、『賢人ナータン』という戯曲を書いています。このナータンはモーゼスをモデルにしていると言われています。

かのモーツァルトもモーゼスの影響を受けているようです。

モーツァルトには、重病の父親に宛てた1787年4月4日付の有名な手紙があります。

「死は(正しく考えますれば)、ほくたちの生の真の最終目的でありますから、ほくは、この人間の真実で最良の友と、数年来、非常に親しくなっています。そのため、その姿はほくにとってただたんに恐ろしいものではないばかりか、まったく心を安らかにし、慰めてくれるものなのです。」(註1)

これは、モーツァルトの死生観が表明されている文章としてつとに有名なものなのですが、ところが、ここで述べられていることは、モーゼスの主著『パイドーン、あるいは魂の不死性について』の中でソクラテスが語っていることとほとんど同じなのです。(註2)

実際、モーツァルトが死んだときに残された蔵書の中に、この本が含まれていましたので、モーツァルトがモーゼスの本を読んでいた影響を受けていたことはほぼ間違いなさそ

うです。モーゼスは、子供たちに高い教育を授けました。次男のアブラハム(作曲家メンデルスゾーンの父親)は、知性と才能にあふれ、最初パリで銀行に勤めた後、ハンブルクで、次いでベルリンで自分の銀行を興し、またたくまに大きな財をきずきあげました。

メンデルスゾーン一家は、まさにヨーロッパ社会でのよきユダヤ人(教育をてこに、社会に出て成功し、裕福になったユダヤ人)の典型だったのですが、そのような恵まれたユダヤ人はほんのひとにぎり、大多数のユダヤ人は、相変わらず、ゲットーの中で悲惨な生活を送っていたのです。

古今の大音楽家といえば、貧しい家庭で生まれ育ったというのが決まり相場になっています。その中であって唯一の例外があって、メンデルスゾーンだけは恵まれた裕福な家庭で育ったということは、何かの本で目にされたことがあるのではないのでしょうか。

このことは、彼が、一般のユダヤ人ではなく、エリート・ユダヤ人であったことに起因しているのです。

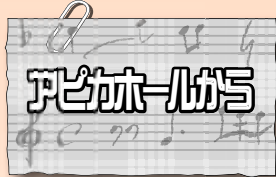
- 註(1) 海老沢 敏『横顔のモーツァルト』
音楽之友社 169ページ
- (2) 海老沢 敏『モーツァルトを語る』
音楽之友社 59~60ページ

参考文献

- 牛山 剛『ユダヤ人音楽家——その受難と栄光——』ミルトス
- 上田和夫『ユダヤ人』講談社(現代新書)

[前回、ユダヤ人の指揮者をご紹介しましたが、一つ大きな名前を書き落としていました。追加いたします
クルト・ザンデルリンク (1912~2011)]

元同志社大学文学部講師(音楽学) 鵜川 真



夏の思い出 2017

7月28日(金)



第137回しばざくらコンサート「和楽器Party!」

和楽器オーケストラあいおいのみなさんの素晴らしい演奏と、アピカ児童合唱団・混声Cbroアピカと市民参加によるお琴の共演は、大成功に終わりました。公演前には、箏・琵琶など7種類の楽器体験がありました。

8月1日(火)



名曲わくわくコンサートVol.2

赤ちゃんからお年寄りの方まで楽しめるコンサート。聴きなれた曲が多く、最後まで退屈せずに子どもたちも聴いていました。公演後には、ヴァイオリン・チェロの楽器体験がありました。

8月6日(日)



ヴァイオリン ワークショップ

普段、触れることのないヴァイオリンに、12名の子どもたちは、わくわくドキドキ。1時間のレッスンを受け、AJS(アピカ・ジュニア・ストリングス)及び初心者ヴァイオリン教室生と一緒に合奏を楽しみました。

8月26日(土)



第21回「リトルピアニストの大きなコンサート」
午前の部



午後部の部

64組69名のピアニストたちがスタインウェイピアノで見事な演奏を披露しました。みんなに聴いてもらう、みんなの演奏を聴く、子どもたちは、演奏を聴くマナーを身につける良い機会にもなりました。

NEW アピカ和楽器教室

アピカホールでは、2017年9月より、箏・尺八教室を開催しています。箏・尺八に少しでも興味のある方、グループで楽しく、まず楽器に触れてみませんか？週末のひとつ、日本古来の響きを、是非体感してください。

【募集内容】

- 対象 北播磨地域(西脇市・三木市・小野市・加西市・加東市・多可町)在住で箏・尺八に興味のある方(箏:小学1年生~大人、尺八:小学4年生~大人)
- と き 土・日・祝日/月2回程度
箏:初級9:00~10:30 / 中級10:30~12:00
尺八:10:00~12:30
- ところ 西脇市立音楽ホール「アピカホール」
- 定員 30人程度(1回の定員は、5~10人を予定しています。)
- 内容 箏のグループレッスン/尺八のグループレッスン
年に一度、発表会を開催予定。
- 指導者 新福かな(箏・三弦演奏家。生田流箏曲。東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程修了。)
松崎晟山(尺八演奏家。都山流楽会大師範。東京芸術大学大学院音楽研究科修士課程修了。)
- 参加料 5,000円/月(教材費は別途必要)
- 申込み 申込書に必要事項をご記入の上、アピカホールまでお申し込みください。(FAX可)

快適さと機能性を追求した住空間



住設機器、建築資材、機械工具、省エネ商品

株式会社 藤田幸三商店 西脇市高松町633-18 TEL.0795-23-5995 FAX.0795-23-6564

総合建設業 一級建築士事務所
国土交通大臣認定鋼構造物製作工場
あんしん住宅瑕疵保険届出事業者



WAIKI CONSTRUCTION CO.,LTD.



〒677-0018 西脇市富田町36
電話 0795-22-5651(代)

豊かなフィールドで釣りが
できる喜びを大切に。



株式会社オーナーぱり

本社 / 〒677-0018 兵庫県西脇市富田町120
TEL.0795-22-1433(代) : FAX.0795-22-6003

会議・セミナー・展示会・パーティ・同窓会 承ります

西脇ロイヤルホテル



〒677-0015 西脇市西脇 991
TEL.0795-23-2000 FAX.0795-23-8604

詳しくはオフィシャルホームページで
▶▶▶ <http://www.nishiwaki-royalhotel.jp> 西脇ロイヤルホテル 検索

●第13回企画展 「光の旅人—幸村真佐男」展
～10月9日(月・祝)

●第14回企画展 「アトリエの夢—かじ・おっと・みよし」
12月24日(日)～平成30年3月25日(日)

開館時間 午前10時～午後5時(入館午後4時30分まで)
入館料 大人310円(260円)、高・大学生210円(160円)、
小・中学生110円(80円)
※()内20名以上団体割引料金
※ココロカード可、障がい者割引有
休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)・祝日の翌日
年末年始(12月29日(金)～平成30年1月3日(水))

●「第11回全国公募西脇市サムホール大賞展」
10月29日(日)～12月3日(日)



1995年からスタートしたサムホール大賞展も今年で第11回目を迎えます。横尾忠則、山下裕二、山崎均の3名の審査員によって選ばれた大賞、準大賞、審査員賞、優秀賞、佳作、入選の計211点のキラリと光るサムホール(22.7×15.8cm)作品を展示します。

〈大賞：堀川登代〈日常の解体新書Ⅰ〉〉

開館時間 午前10時～午後5時(入館午後4時30分まで)
※最終日は、午後3時まで。
※サムホール大賞展は入館無料
※詳しくは岡之山美術館(0795-23-6223)までお問い合わせください。

●アトリエ

「第10回全国公募西脇市サムホール大賞展受賞作家展」
前回展の入賞者による展覧会を開催。自由な発想と優れた表現力の作品を制作し、高い評価を得た方々の日常の作品を展示します。

VOL.7 ●通島 朋子展(大賞)
9月20日(水)～10月9日(月・祝)

「サムホール第1回～第10回受賞作品展」

第1回～第10回までの歴代全受賞作品を展示します。
10月29日(日)～12月3日(日)
※最終日は、午前11時まで。

「アトリエ個展シリーズ」

近隣在住の作家による個展を開催します。

VOL.1 ●井上 仁展(洋画)
12月26日(火)～平成30年1月21日(日)

※アトリエは入館無料

※各会期の最終日は展示替えの為、午後3時まで。

<http://www.nishiwaki-cs.or.jp/okanoyama-museum/>
ホームページにも掲載していますので是非ご覧ください。
ブログ「美術館日記」もご訪問ください。

山田洋次監督による喜劇映画の決定版、待望の続編！
映画「家族はつらいよ2」上映会

西脇市民会館
TEL.0795-22-5715
休館日 火曜日(祝日の場合は翌日)

と き 11月23日(木・祝)

①10:00～11:53(開場 9:30)
②14:00～15:53(開場 13:30)

と ころ 市民会館 大ホール 全席自由

入場料 前売券 800円(当日 1,200円)

※4歳未満のお子様の入場はご遠慮ください。
※ご購入・ご予約されたチケットのキャンセル及び
時間変更はできません。

※ホームページにも掲載していますので是非ご覧ください。

<http://www.nishiwaki-cs.or.jp/shiminkaikan/> E-mail: shiminkaikan@ever.ocn.ne.jp



音楽の 話・輪・和・Wa

アピカホール と我が家の 子どもたち

岡野 智子

アピカホールに足を運び始めたのは、長女が小学校3年生の頃だったでしょう。か。ピアノを習っていた娘たちの発表会がきっかけだったと思います。小さいホールですが、スタインウェイのピアノの音の響きがとてもよく、娘たちも「アピカのピアノ弾きやすくて好き〜。」と言っていたのを思い出します。
あれから7年くらいが過ぎました。何度も「リ

トルピアニストの大ききなコンサート」に出演させていただき、現在は長男が児童合唱団に入り、お世話になっています。一年に一度の、児童合唱団と混声Còroアピカのコンサートをとても楽しみにしています。昨年度のコンサートでは、モーツァルトをテーマに、歌やミュージカルが行われました。
児童合唱団は少人数ですが、一人ひとりが堂々と舞台でセリフを言い、歌をうたう姿にとても感動しました。また、我が娘と息子がたくさんのお客様の前で舞台上立ち立派に演じる姿にビックリさせられ、大きく成長

した姿がとても嬉しかったです。良い環境で本格的に指導してくださる先生方やアピカホールの方々に感謝です。私自身が舞台上立つことはないですが、今は子どもたちの為にコンサートの裏方として、一緒に舞台を作ることをとても楽しみにしています。

小さいころからピアノを弾いたり音楽を聴いたりすることが好きでした。大人になった今も仕事やアピカホールを通して好きな音楽と触れ合えることに喜びを感じながら、これからも音楽を楽しんでいきたいなあと思っています。

(野村町 在住)

編集後記

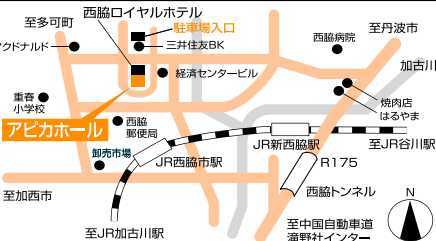
アピカホールでいろんな音楽を聴いて、発見がいくつかありました。確かな演奏でテクニックもすばらしいプロの演奏から、知り合いの人が一生懸命に歌ったりしている合唱までを聴いていると、音楽には共通して何か力があると実感しました。上手い下手では計れない喜びや感動が伝わります。心の感性を呼び覚まし、お客様と一体となったとき、同じ時間を共有できると思います。
音楽に親しむ機会がなくても困りませんが、音楽があればもっと楽しく豊かな気持ちになって暮らせるのではないのでしょうか。
180席ながら、スタインウェイのピアノがあり、音響抜群のアピカホールで、皆さんも演奏をしたり、舞台上に立ったりしてみるのもよい経験になると思います。(Green)

アピカホール 催しガイド 10月～1月

休館日：毎週水曜日(祝日の場合翌日)

月/日(曜日)	催物内容	時間	入場料等	主催・問合せ	特集記事
10/3(火)	こころトキメク交流企画 みんなの知らない音楽の世界 ～レクチャー編～	19:00開演 (18:30開場)	一般1,000円 高校生以下500円 セット (コンサート&レクチャー) 一般2,500円 高校生以下500円	アピカホール ☎0795-23-9000	P2-3
10/15(日)	こころトキメク交流企画 みんなの知らない音楽の世界 ～コンサート編～	14:00開演 (13:30開場)	一般2,000円 高校生以下500円	アピカホール ☎0795-23-9000	
10/22(日)	蓄音器で味わう名曲シリーズ ～懐かしの昭和歌謡の世界～ 「歌は世につれ、世は歌につれ」1回目	14:00開演 (13:30開場)	500円 (当日精算)	アピカホール ☎0795-23-9000	P4-5
11/4(土)	ゲミュートリッヒスペシャル vol.5	14:30開演 (14:00開場)	前売2,500円 当日3,000円	ゲミュートリッヒ ミュージックアカデミー ☎06-6946-7441	
11/12(日)	大人のための ヴァイオリン・ワークショップ	1回目 13:00～14:00 2回目 15:00～16:00	参加料1,000円	アピカホール ☎0795-23-9000	
11/12(日)	Duo bel Sogno 中村公俊・中村仁美 ヴァイオリンデュオミニコンサート	14:15～14:45 (14:00開場予定)	無料	アピカホール ☎0795-23-9000	
11/23(木)	映画「家族はつらいよ2」上映会	会場：西脇市民会館 ①10:00～(開場9:30) ②14:00～(開場13:30)	全席自由800円 (当日1,200円)	市民企画委員会 <small>ゼロ</small> 西脇市民会館 ☎0795-22-5715	P11
11/25(土)	2017工藤真史ピアノ&亀井玲司 トロンボーンコンサート	15:00開演 (14:30開場)	一般 前売2,700円 当日3,200円 小中高生 前売1,700円 当日2,000円	西脇ミルトス音楽実行 委員会(奥田・藤田) ☎090-6204-0700	
12/1(金)	蓄音器で味わう名曲シリーズ ～懐かしの昭和歌謡の世界～ 「歌は世につれ、世は歌につれ」2回目	14:00開演 (13:30開場)	500円 (当日精算)	アピカホール ☎0795-23-9000	P4-5
12/3(日)	中安修也ピアノリサイタル	14:00開演 (13:30開場)	早割500円(50席限定) (10/9 9:00～10/17) 入場料1,500円	アピカホール ☎0795-23-9000	
12/16(土)	第20回 「アピカ・アンサンブルコンサート」	調整中	無料	アピカホール ☎0795-23-9000	
12/25(月)	アピカでクリスマス ～新福か(箏)・松崎巖山(R/H)・高島春樹(ピアノ)～	14:00開演 (13:30開場)	500円	アピカホール ☎0795-23-9000	
2018 1/28(日)	アピカ・ミュージック・トレイン	調整中	500円	アピカホール ☎0795-23-9000	

★主催者の都合により変更になる場合があります。内容についてのご質問は、各主催者までお問い合わせください。



交通アクセス

<バス>中国ハイウェイバス西脇営業所行き
「西脇」下車すぐ。

三ノ宮～西脇線(神姫)「西脇」下車すぐ。

<鉄道>JR加古川線「西脇駅」より徒歩約20分。

<車>中国自動車道 滝野社ICより国道175号線
を北へ約15分。

■編集：ポナタゴン編集委員会
■発行：西脇市立音楽ホール「アピカホール」
ポナタゴン：こんにちは
(エスペラント語)

〒677-0015 兵庫県西脇市西脇991
TEL(0795)23-9000 FAX(0795)23-9031
http://www.nishiwaki-cs.or.jp/apikahall/
E-mail: apikahall@ever.ocn.ne.jp

このガイドは2017年9月1日現在の資料を元に編集されており、内容は変更される場合があります。無断での転載を禁じます。

アピカホール ポナタゴン 検索 ←ホームページでもご覧いただけます。